

第14回全国グループホーム研修会

開催要綱

テーマ

わたしたちで描く地域生活

1 目的

平成元年に生れたグループホームは知的に障害を持つ人達や家族、支援者に大きな夢と希望を与えました。この制度は不完全ながらも現場での様々な実践を通して変化し、熟成され、浸透し「地域生活」という提案を示し続け、福祉サービスの多様化や新たな工夫を創造し、施設の在り方にも大きな変革をもたらそうとしてきました。

そして障害福祉サービスの仕組みが急激に変わろうとしている現在、「障害者自立支援法」は、その育ちの過程で時として期待を、時として不安を与え、情報の渦で私達を翻弄しようとしています。しかし人の「暮らし」は制度がどのように変わろうと基本的に変わらないものだと思います。こんな時期だからこそ私達はこの研修会に集い、たくさんの情報を持ち寄り、整理し、主体性をもってこれから進むべき道を求めようではありませんか。

2 主催

財団法人 日本知的障害者福祉協会
地域支援部会 福祉ホーム・グループホーム等分科会

3 共催

関東地区知的障害者福祉協会
栃木県知的障害施設協会

4 後援 (予定)

栃木県・宇都宮市・(福)栃木県社会福祉協議会

5 開催日

平成17年10月18日(火)～19日(水)

6 会 場 全体会場・分科会場・懇親会場
栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1 - 8)
宇都宮東武ホテルグランデ(栃木県宇都宮市本町5 - 12)
宇都宮ロイヤルホテル(宇都宮市江野町11 - 16)

7 参加対象 福祉ホーム・グループホーム等の世話人、利用者、バックアップ施設職員、その他関心のある方

8 定 員 700名

9 研修会日程

第1日(10月18日)

12:00 12:50 13:00 14:00 14:10 15:10 15:30 17:30 18:00

受付	開会式	新法解説	休憩	講演	移動	分科会	移動・休憩	交流会
----	-----	------	----	----	----	-----	-------	-----

第2日(10月19日)

8:00 9:00 11:00 11:10 12:00 12:30

受付	シンポジウム	休憩	講演	閉会式
----	--------	----	----	-----

10 研修内容

第1日(10月18日)

開会式

主催者挨拶	日本知的障害者福祉協会	会 長	小坂 孫次
歓迎の言葉	栃木県知的障害施設協会	会 長	瀬端 道男
来賓挨拶	栃木県保健福祉部	部 長	神野 俊彦

新法解説 厚生労働省 (交渉中)
日本知的障害者福祉協会福祉ホーム・グループホーム等分科会
副座長 高濱 潔

講演 「暮らしを創造する」
講師 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
代 表 武田 和典

分科会

第1分科会「なぜ、グループホームなのか」

施設支援から居宅支援への流れ、福祉サービス提供者の今後の在り方にも関連して、地域の中で自立した生活を支えるためのグループホームは質、量共に生活の場の安定した供給源となっていくのでしょうか。その存在を問います。

提言者	全国地域生活支援ネットワーク	代表理事	田中 正博
	日本グループホーム学会	代表	室津 滋樹
	佐野短期大学（栃木県）	社会福祉学科教授	山田 昇
司会者	松泉学院（北海道）	施設長	光増 昌久

第2分科会「聞いてますか、気付いてますか」

グループホーム利用者と身近で接する支援者。時として利用者の支援の在り方に悩み、互いが理解できずに失敗することも。ここでは障害を持つ人に対する「気づき」「心のケア」とは何かを人として、仕事人として考えます。

提言者	栃木県グループホーム世話人連絡会（栃木県）会長	川上 聖子
	グループホーム「下宿屋」（神奈川県）職員	牧野 賢一
	社会福祉法人あおぞら共生会（神奈川県）副理事長	明石 洋子
司会者	就業・生活支援センターわーくわく（徳島県）	
	生活支援ワーカー	林 弥生

第3分科会「できたからっていいもんじゃない」

年々増え続けるグループホーム。できた数だけそこに人が住み、様々な形のバックアップ体制があります。より質の高いグループホームを運営するためにどんな実践がなされているのか、どんな工夫が必要かを考えます。

提言者	社会福祉法人さざんか会（千葉県）	理事長	宮代 隆治
	全国GHスタッフネットワーク	代表	酒井比呂志
	富屋作業所（栃木県）	生活支援ワーカー	長沢 聡
司会者	札幌この実会センター24（北海道）	施設長	山崎千恵美

第4分科会「私達抜きでは語れない」

利用者にとって、保護者にとって、グループホームとはどんな存在なのでしょう。既に住んでいる人、これから住もうとしている人、家族の思いとは。本音で語ってください。

提言者	グループホームを出た人の立場から（栃木県）	橋本 静子	
	グループホーム利用者の親の立場から（栃木県）	渡辺美恵子	
	グループホーム利用者の立場から（栃木県）	金子 保夫	
	地域生活も子ばなれもしょう会（宮城県）代表	目黒久美子	
司会者	千葉県中核地域生活支援センター	コーディネーター	荒井 隆一

第2日(10月19日)

シンポジウム 「制度に縛られず、制度を利用する。求められる主体的な暮らしの創造」

シンポジスト 日本グループホーム学会 代表 室津 滋樹
厚生労働省 (交渉中)
社会福祉法人さざんか会(千葉県)理事長 宮代 隆治
全国地域生活支援ネットワーク 代表理事 田中 正博
コーディネーター 桑の木園(島根県) 施設長 室崎 富恵

講演 「より良いものを明日に残していくために」
日本知的障害者福祉協会福祉ホーム・グループホーム等分科会
座長 小林 繁市

閉会式 次期開催地区あいさつ 近畿地区
閉会あいさつ 第14回全国グループホーム研修会実行委員会

11 参加費

研修会費 8,000 円
交流会費 8,000 円

12 問合せ・申込先

(1) 大会内容に関するお問合せ先

栃木県知的障害施設協会事務局 (担当 寺田・井澤)
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内
TEL 028-622-0051 FAX 028-621-5298
E-mail gh14@tochigi-chitekiki.org

参加申込・宿泊・オプションツアーに関するお問い合わせ先

近畿日本ツーリスト宇都宮支店
第14回全国グループホーム研修会係(担当:山崎、長谷川、大塚)
〒320-0801 栃木県宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F)
〔営業時間/9:00~17:30(月~土)日・祝祭日休み〕
TEL 028-633-2151 FAX 028-638-5576
E-mail utsunomiya-d@or.knt.co.jp